

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 タカセ株式会社

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 島津 和人

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,350	△1.0	262	△28.3	256	△27.3	△572	—
23年3月期第3四半期	7,425	△0.7	366	6.6	353	0.5	135	△33.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △597百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 122百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△56.23	—
23年3月期第3四半期	13.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第3四半期	9,827	6,835	69.6	673.54
23年3月期	10,537	7,538	71.5	739.77

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,835百万円 23年3月期 7,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,800	0.8	245	△43.1	240	△42.0	△540	—	△53.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

なお、第1四半期連結会計期間より、高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および高瀬物流(上海)有限公司の2社について、重要性が増したため、連結範囲に含めることにいたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	10,545,133 株	23年3月期	10,545,133 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	396,276 株	23年3月期	355,066 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	10,178,406 株	23年3月期3Q	10,224,909 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品法にもとづく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記予想に関する事項は、3ページ【1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報】をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 一般概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響による生産活動や経済活動の低迷から徐々に回復しつつあるものの、欧州債務危機を背景とした欧米景気の減速や円高ならびに株価の低迷などの影響により、景気の先行きが不透明な状況となっております。

当社グループの属する物流業界は、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による料金低下という厳しい環境が続いております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げてきましたが、高瀬国際貨運代理（上海）有限公司および高瀬物流（上海）有限公司の2社について重要性が増したことから、新たに連結範囲に含めることにいたしました。今後とも、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすことを目指して効率化に努めてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は前年同期間と比較して1.0%減の73億50百万円の計上となりました。また、利益面におきましては、特に、当第3四半期連結会計期間において、特定顧客の運営体制改善による作業効率向上によって、前年同期間並みの利益獲得が図れたものの、上半期における当社川崎港営業所の一時的な震災対応費用を補うまでには至らなかったことから、営業利益は前年同期間と比較して28.3%減の2億62百万円となり、経常利益は前年同期間と比較して27.3%減の2億56百万円となりました。前第3四半期連結累計期間では、特別損失項目において、役員退職慰労金58百万円の計上がありましたが、当第3四半期連結累計期間では、当社が保有する川崎港営業所の土地について、減損損失6億73百万円の計上を余儀なくされたことのほか、法人税等調整額項目において、法人税法の改正にともなう法定実効税率の見直しによる繰延税金資産の取崩しの影響もあり、四半期純損失は5億72百万円（前年同期間は1億35百万円の四半期純利益）となりました。

② 報告セグメントの概況

A. 総合物流事業におきましては、新たに高瀬国際貨運代理（上海）有限公司および高瀬物流（上海）有限公司の2社を連結範囲に含めたことによる増加要因はあるものの、震災の影響および収受料金の低下の影響等により、輸出入取扱業務ならびに主力の音楽映像分野の商品取扱業務など、一般的に業務取扱が前年同期間までの回復にまでは至っておらない状況から、営業収益は前年同期間と比較して0.6%減の72億56百万円となりました。また、営業総利益は、上半期における当社川崎港営業所での震災の影響による操業度の低下や一時的な保管コストの増加があったものの、上記子会社2社を連結範囲に含めたことや作業部門における運営体制改善や業務量に応じた人員投入と作業効率向上を推進したことに加え、経費削減に強力に取り組んだことにより、前年同期間と比較してほぼ同額の9億2百万円となりました。

B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、国内顧客の新規業務獲得による取扱量増があったことから、営業収益は前年同期間と比較して5.1%増の9億86百万円となりました。また、営業総利益は、営業収益増加要因に加え、不採算業務の効率化などのコスト改善を推進したことにより、前年同期間と比較して11.2%増の39百万円となりました。

C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、国内顧客の業務取扱量が総じて前年同期間までの回復にまでは至っていない状況のため、営業収益は前年同期間と比較して0.5%減の9億93百万円となりました。また、営業総利益は、業務量に応じた人員投入と作業効率向上に努めたものの、顧客の物流ニーズが多岐にわたり複雑化してきたため、その効果が発揮しきれなかったことから、前年同期間と比較して14.4%減の67百万円の計上に止まりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

A. 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億10百万円（△6.7%）減少し、98億27百万円となりました。

この主な要因は、新たに高瀬国際貨運代理（上海）有限公司および高瀬物流（上海）有限公司の2社を連結範囲に含めたことによる増加のほか、受取手形及び売掛金が当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休業日だったことなどから、1億57百万円の増加要因があったものの、有形固定資産の土地において、当社が保有する川崎港営業所の土地について、減損損失の計上を余儀なくされたことから6億73百万円減少したことや投資有価証券が1億10百万円減少したことによるものであります。

B. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7百万円（△0.3%）減少し、29億91百万円となりました。

この主な要因は、資産と同様、上記子会社の2社を連結範囲に含めたことによる増加要因のほか、長期借入金が増加したものの、社債の償還によって、1年内償還予定の社債および社債の合計が2億10百万円減少したことによるものであります。

C. 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ7億2百万円（△9.3%）減少し、68億35百万円となりました。

この主な要因は、連結会社増加に伴う増加額24百万円、利益剰余金が四半期純損失による減少5億72百万円ならびに前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億6百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、特に、当第3四半期連結累計期間の営業利益および経常利益が、通期業績予想を超えている状況にあります。第4四半期連結会計期間の事業環境については例年業績が低迷する時期でもあり、また、先行きが不透明なことから、前回公表（平成23年11月8日付「第2四半期連結決算短信」）のとおり、現時点での修正はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、高瀬国際貨運代理(上海)有限公司および有限会社高瀬物流(上海)有限公司の2社について、重要性が増したため、連結範囲に含めることにいたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,910,973	2,892,359
受取手形及び売掛金	1,149,116	1,307,086
原材料及び貯蔵品	12,869	13,001
前払費用	34,464	46,208
繰延税金資産	62,762	33,692
その他	127,754	126,318
貸倒引当金	△1,579	△1,751
流動資産合計	4,296,362	4,416,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,890,909	7,968,417
減価償却累計額	△5,501,446	△5,645,925
減損損失累計額	△52,617	△52,617
建物及び構築物(純額)	2,336,845	2,269,874
機械装置及び運搬具	2,061,906	2,126,156
減価償却累計額	△1,947,761	△2,010,063
機械装置及び運搬具(純額)	114,145	116,093
土地	2,247,702	1,574,272
その他	356,627	346,866
減価償却累計額	△301,297	△297,150
その他(純額)	55,330	49,715
有形固定資産合計	4,754,022	4,009,955
無形固定資産		
借地権	449,043	449,043
その他	75,592	77,359
無形固定資産合計	524,635	526,403
投資その他の資産		
投資有価証券	537,699	426,945
繰延税金資産	206,034	201,971
その他	231,945	257,642
貸倒引当金	△12,916	△12,319
投資その他の資産合計	962,761	874,239
固定資産合計	6,241,420	5,410,598
資産合計	10,537,783	9,827,513

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	508,100	500,784
1年内償還予定の社債	220,000	520,000
短期借入金	646,000	646,428
未払費用	163,971	162,060
未払法人税等	66,065	44,223
賞与引当金	87,173	33,216
役員賞与引当金	21,000	17,250
その他	82,932	138,206
流動負債合計	1,795,243	2,062,168
固定負債		
社債	520,000	10,000
長期借入金	50,000	262,500
退職給付引当金	557,415	581,803
役員退職慰労引当金	64,737	70,087
その他	12,107	5,257
固定負債合計	1,204,260	929,647
負債合計	2,999,503	2,991,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	3,312,747	2,657,890
自己株式	△100,995	△109,991
株主資本合計	7,515,601	6,851,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,473	31,606
為替換算調整勘定	△25,795	△47,657
その他の包括利益累計額合計	22,677	△16,051
純資産合計	7,538,279	6,835,697
負債純資産合計	10,537,783	9,827,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	7,425,476	7,350,836
営業原価	6,355,712	6,356,923
営業総利益	1,069,764	993,912
販売費及び一般管理費	703,338	731,140
営業利益	366,425	262,772
営業外収益		
受取利息	796	601
受取配当金	11,021	12,805
受取賃貸料	3,278	3,241
債務勘定整理益	—	6,129
その他	5,694	5,448
営業外収益合計	20,790	28,226
営業外費用		
支払利息	20,610	18,332
支払補償費	8,777	13,004
その他	4,791	3,134
営業外費用合計	34,179	34,471
経常利益	353,036	256,527
特別利益		
固定資産売却益	474	546
貸倒引当金戻入額	942	—
投資有価証券売却益	24,274	—
特別利益合計	25,691	546
特別損失		
固定資産除売却損	10,958	7,749
保険解約損	10,547	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,840	—
役員退職慰労金	58,300	—
減損損失	—	673,430
特別損失合計	89,645	681,179
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	289,082	△424,105
法人税、住民税及び事業税	77,374	99,267
法人税等調整額	75,887	48,929
法人税等合計	153,261	148,196
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	135,821	△572,302
四半期純利益又は四半期純損失(△)	135,821	△572,302

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	135,821	△572,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,869	△16,866
為替換算調整勘定	△9,102	△8,207
その他の包括利益合計	△12,971	△25,074
四半期包括利益	122,849	△597,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,849	△597,377
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	7,288,645	75,529	34,593	7,398,768	26,708	7,425,476
セグメント間の内部営業収益または振替高	14,726	862,902	963,951	1,841,581	109,191	1,950,773
計	7,303,372	938,431	998,545	9,240,349	135,900	9,376,249
セグメント利益	901,997	35,318	79,280	1,016,596	19,444	1,036,040

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	7,425,476
セグメント間の内部営業収益または振替高	△1,950,773	—
計	△1,950,773	7,425,476
セグメント利益	33,723	1,069,764

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額33,723千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	7,227,922	70,290	23,635	7,321,848	28,987	7,350,836
セグメント間の内部営業収益または振替高	28,725	915,955	970,057	1,914,738	95,053	2,009,791
計	7,256,647	986,246	993,692	9,236,587	124,040	9,360,627
セグメント利益	902,092	39,291	67,881	1,009,265	13,067	1,022,332

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
外部顧客への営業収益		7,350,836
セグメント間の内部営業収益または振替高	△2,009,791	—
計	△2,009,791	7,350,836
セグメント利益	△28,420	993,912

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△28,420千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合物流事業」セグメントにおいて、倉庫設備の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において673,430千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません